

< たかまる過程 > (全18時間)

第8～9時

「こんな自分になりたい」に向けて、学習計画をたてよう 平成 年 月 日 (曜日) 第 校時 4年生教室
T1 () T2 ()

1 目標

12月の聴覚障害者との交流会に向けて自分がたてた課題について、4観点の努力目標を考えたり、スケジュールを作ったりすることにより、解決の見通しがある計画をたてることができる。

2 評価の観点

**これからどんなことをしていけば課題が解決できるか、
上手に自分で目標や計画をたてる。**

3 評価基準

: こんな自分になりたいという目標に向けて、進んで計画をたてようとする。
: こんな自分になりたいという目標に向けて、楽しく計画をたてようとする。

: 目標に向けて、今までの学習経験を生かしながら、自分なりに見通しのある計画が考えられる。
: 目標に向けて自分なりに計画が立てられる。

: 社会科や理科など教科学習で培った学習方法を積極的に生かしている。
: 教科で培った学習方法を何らかの形で取り入れている。

: 新しい学習方法を計画の中に見通しをもって取り入れようとしている。
: 興味・関心のある新しい学習方法を計画の中に取り入れようとしている。

4 評価の視点

自分自身の良さに気づかせたり自信をもたせるために、相互評価や外部評価を工夫する。

自分自身の学びを振り返り、実力を十分に発揮できるような学習計画がたてられるように、自己評価や相互評価を工夫する。

子ども一人一人がそれぞれ自分なりの学習計画をたてることができるように、観察法を主体に机間指導しながら実態をつかみ、言葉かけや会話による適切な支援を行う。

授業後、主に次時の学習活動に生かせるようにするため、ワークシートなどの子どもの自己評価と教師の観察評価などを合わせて、基準で実態把握し、特記事項を個人カード1に記入する。

今後の学習活動に生かしたり、通知票や要録の資料にするために、最後に個人カード2に評価の観点にそって基準で総括的評価を行い、特記事項を記入する。

5 準備

ワークシート (こんな自分になりたいなカード、耳が聞こえない世界をたんけんしようカード)
アドバイスカード第1号、クリアファイル (ポートフォリオ用)

第8～9時 「こんな自分になりたい」に向けて、学習計画をたてよう

活動の概要

それぞれがたてたこんな自分になりたいという目標を実現するために、具体的な4観点の努力目標（子ども自身がつくった評価基準）を考えたり、学習スケジュールを作ったりすることを通して、課題解決に向けての見通しのある学習計画をたてる。

| | |
|---|---|
| <p>予想される学習活動 教師の投げかけ・ 指導方針・ 子どもの思いや願い（発言・つぶやき）</p> | <p>評価の方法・目的 【4観点】（時間）</p> |
| <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">「こんな自分になりたい」という目標が実現できるように、今日はしっかりした学習計画をたてよう！</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">おうちの人も応援してくれているんだな。なんだかうれしいな。がんばるぞ。この勉強はとても大切なことなんだな。ふだんの生活で生かすにはどうしたらいいかな。</p> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;">  <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ぼくの目標は、「人の気持ちを考えて話せるようになる。」です。</p> </div> |  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>努力目標は、単に「がんばる。」というだけにならないようにしたい。自分なりに具体的に書けるよう机間指導する。</p> </div> |
| <div style="margin-top: 20px;">  <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">どんなことを書いたらいいんだ？はじめてでわからないな。自分なりに考えて書けばいいんだな。今までの勉強のことを思い出して書こう。</p> </div> | <div style="margin-top: 20px;"> <p>【 T 1 T 2 】 こんな自分になりたいという目標に向けて、進んで計画をたてようとする。 こんな自分になりたいという目標に向けて、楽しく計画をたてようとする。</p> <p>【 T 1 T 2 】 目標に向けて、今までの学習経験を生かしながら、自分なりに見通しのある計画が考えられる。 目標に向けて自分なりに計画が立てられる。</p> <p>【 T 1 T 2 】 社会科や理科など教科学習で培った学習方法を積極的に生かしている。 教科で培った学習方法を何らかの形で取り入れている。</p> <p>【 T 1 T 2 】 新しい学習方法を計画の中に見通しをもって取り入れようとしている。 興味・関心のある新しい学習方法を計画の中に取り入れようとしている。</p> </div> |
| <div style="margin-top: 20px;">  <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">どのビデオで手話を調べたり練習したりしたらいいかな。ビデオだけでなくインターネットで耳が聞こえない人の気持ちも調べてみたいな。インターネットで調べたことが本当かどうか橋詰さんや剣持さんに確かめてみるのでもいいかな。しっかり使えるようになるために友だちと手話の練習をする計画も入れておこうかな。まとめ方をどうしよう？</p> </div> | <div style="margin-top: 20px;">  <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">追究方法によっては、総合の時間以外の時間も学習計画の中に入る場合がある。また、完全にスケジュールが入らなくても仕方ない。スケジュールはあくまで予定なので、途中で変更しても良いことを児童にもおさえておく。</p> </div> |

< たかまる過程 > (全18時間)

第10時～15時

| | | | | | | | |
|---------|--------------------|----|---|---|--------|-------|-------|
| 第10～11時 | 耳が聞こえない世界をたんけんしよう1 | 平成 | 年 | 月 | 日(曜日)第 | 校時 | 4年生教室 |
| | | | | | T1() | T2() | |
| 第12～13時 | 耳が聞こえない世界をたんけんしよう2 | 平成 | 年 | 月 | 日(曜日)第 | 校時 | 4年生教室 |
| | | | | | T1() | T2() | |
| 第14～15時 | 耳が聞こえない世界をたんけんしよう3 | 平成 | 年 | 月 | 日(曜日)第 | 校時 | 4年生教室 |
| | | | | | T1() | T2() | |

- 1 目標
自分がたてた学習計画をもとに、追究活動ができる。
- 2 評価の観点と評価基準 十分満足できる おおむね満足できる

わからないことをいろいろな手段で調べる力・・・A

: 課題解決のために、最後までいろんな手段で調べていこうとする。
: 課題解決のために、楽しく調べていこうとする。

: いろんな手段で調べたことが、断片的な知識になってしまうのではなく、関係付けてとらえることができる。
: 調べたことを自分なりに意味付けすることができる。

: 図書室で目的の資料を探したり、資料から調べたいことを上手に見つけたり、視聴覚資料を効果的に活用するなど、これまでの学習経験を生かしてわからないことを粘り強く調べていくことができる。
: 図書資料や視聴覚資料などからわからないことを調べていくことができる。

: 家族や地域の人に聞いたり確かめたりするなど、生活と結びつけて考えたり調べたりできる。
: 家族や地域の人に、調べたいことを聞いたり、調べたことを確かめたりすることができる。

コンピュータやデジタルカメラなどをじょうずにつかえる力・・・B

: 課題解決のために情報機器を進んで活用しようとする。
: 情報機器を楽しく活用している。

: インターネット検索やパソコンソフトなどの情報機器を、目的に合わせて上手に使いこなすことができる。
: インターネット検索やパソコンソフトなどの情報機器を使って調べることができる。

- 3 評価の視点

自分自身の良さに気づかせたり自信をもたせるために、相互評価や外部評価を工夫する。

自分自身の学びを振り返り、実力を十分に発揮できるような学習計画がたてられるように、自己評価や相互評価を工夫する。

子ども一人一人がそれぞれ自分なりの追究活動ができるように、観察法を主体に机間指導しながら実態をつかみ、言葉かけや会話による適切な支援を行う。

追究活動は一人一人多岐にわたるので、事前に個人別に評価項目をきめて評価活動をする。また、評価項目が偏らないように、全6時間を通して全評価項目を計画的に評価出来るようにする。

授業後、主に次時の学習活動に生かせるようにするため、ワークシートなどの子どもの自己評価と教師の観察評価などを合わせて、基準で実態把握し、特記事項を個人カード1に記入する。

今後の学習活動に生かしたり、通知票や要録の資料にするために、最後に個人カード2に評価の観点にそって基準で総括的評価を行い、特記事項を記入する。

- 4 準備 ワークシート、クリアファイルとファイルボックス(ポートフォリオ用)、パソコン9台、ビデオデッキとテレビ3台
聴導犬関係の児童図書、手話関係の児童図書、手話関係のビデオソフト、CD-R
- 5 展開

第10～11時 耳が聞こえない世界をたんけんしよう1

- 6 活動の概要
それぞれがたてた「こんな自分になりたい」という目標を実現するために、4観点の努力目標(子ども自身がつくった評価基準)や学習スケジュールなどのそれぞれの学習計画にそって、追究活動する。

| <p>予想される学習活動 教師の投げかけ・ 指導方針・ 子どもの思いや願い（発言・つづやき）</p> | <p>評価の方法・目的 【4観点】（時間）</p> |
|--|--|
| <p>T 1</p>  <p>「こんな自分になりたい」という目標が実現できるように、それぞれがたてた計画にそってしっかり追究活動しよう！</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>それぞれの追究活動に入る前に、本時の活動計画を4つの観点からワークシートに書き、目的意識をもって活動できるようにする。そのため、計画性が不十分な児童には、事前に個別指導しておく。 4つの観点は、追究場所、追究方法、追究内容、追究範囲（ノルマ）とする。 追究場所が教室以外の場所にわかれたり、追究方法が多岐にわたるので、TTで分担して対応できるようにする。 追究活動後、2つの観点で自分の追究活動を振り返る。2つの観点は、追究活動の反省、次に向けての課題や授業以外で追究したいこととする。そして、自分自身がきめた4つの評価基準（ほしまた）で自己評価する。</p> </div>  <p>追究活動に入る前</p> | <p>T 1 T 2</p>   <p>わからないことをいろいろな手段で調べる力・・・A</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>課題解決のために楽しく調べられる。</p> <p>調べたことを自分なりに意味付けすることができる。</p> <p>図書資料や視聴覚資料などからわからないことを調べていくことができる。</p> <p>家族や地域の人に、調べたいことを聞いたり、調べたことを確かめたりすることができる。</p> </div> <p>コンピュータやデジタルカメラなどをじょうずにつかえる力・・・B</p> <p>（15分）</p> |
|  <p>インターネットだとほんとうにいろんな情報が手にはいるな。今日は手話の練習をするぞ。次は生活について調べるぞ。</p> <p>聴導犬ってこんなにすごいんだ。さんはどうして聴導犬を飼わないんだろう？聞いてみようかな？よし、宿題にしよう。ファックスで聞いてみるぞ。今日はインターネットだけど、田中さんの職場見学にはデジカメを持って行って写真を撮ってきたいな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>指文字をビデオで練習するぞ。今日はどんなことを覚えようかな。</p> <p>手話で歌を覚えて交流会で橋詰さんと楽しく歌いたいな。だいび覚えたから実際に試してみたいな。さんに会いに行きたいな。さんの職場を訪ねたいな。</p> <p>手話で歌を覚えたぞ。みんなに教えて楽しくやりたいな。</p> </div>  <p>私は、先生が紹介してくれた本を読んでみようかな。聴導犬の物語からいろんなことがわかりそうだ。</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>情報機器を楽しく活用している。</p> <p>インターネット検索やパソコンソフトなどの情報機器の基本的な操作方法がわかる。</p> </div> <p>（60分）</p> |
|  <p>追究活動の後 （10分）</p> | <p>T 1 T 2</p>   |
| <p>学習計画の修正</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>さんの職場を見学したいという児童が多かったので、11月12日（火）に全員が見学できるように計画に取り入れることを教師側から投げかけ、計画修正をするように指導する。そして、それに向けて子どもたち自身がさんとメールやファックスで交渉して実現できるように支援していきたい。児童の中にどうしても他の追究活動をしたいという希望があれば、全員でなく希望者だけとする。また実現に向けて、保護者にも学級通信等で協力を呼びかけることも考慮する。</p> </div> <p>（5分）</p> | <p>T 1 T 2</p>   |

8. 個人別の評価項目

| 名前 | 追究活動の方法 | 評価項目 |
|----|-------------------|---|
| A | 本「愛犬ボタンはぼくの耳」 | - 図書室で目的の資料を探したり、資料から調べたいことを上手に見つけたり、視聴覚資料を効果的に活用するなど、今までの学習経験を生かしてわからないことを粘り強く調べていくことができる。 |
| B | ビデオみんな友だち手話 | - 図書室で目的の資料を探したり、資料から調べたいことを上手に見つけたり、視聴覚資料を効果的に活用するなど、今までの学習経験を生かしてわからないことを粘り強く調べていくことができる。 B - 情報機器を目的に合わせて効果的に活用することができる。 |
| C | ビデオ | - 図書室で目的の資料を探したり、資料から調べたいことを上手に見つけたり、視聴覚資料を効果的に活用するなど、今までの学習経験を生かしてわからないことを粘り強く調べていくことができる。 B - 情報機器を目的に合わせて効果的に活用することができる。 |
| D | 本「捨て犬みかんとポチ」 | - 図書室で目的の資料を探したり、資料から調べたいことを上手に見つけたり、視聴覚資料を効果的に活用するなど、今までの学習経験を生かしてわからないことを粘り強く調べていくことができる。 |
| E | ビデオ「歌とゲームで遊ぼう」 | - 図書室で目的の資料を探したり、資料から調べたいことを上手に見つけたり、視聴覚資料を効果的に活用するなど、今までの学習経験を生かしてわからないことを粘り強く調べていくことができる。 B - 情報機器を目的に合わせて効果的に活用することができる。 |
| F | IT 1-2[手話をやってみよう] | B - 情報機器を目的に合わせて効果的に活用することができる。 B - インターネット検索やパソコンソフトなどの情報機器を上手に使いこなし、友だちに教えることができる。 B - 情報モラルやクラスの決まりなどを進んで守りながら、情報機器を正しく使おうとする。 |
| G | IT1-2 | B - 情報機器を目的に合わせて効果的に活用することができる。 B - インターネット検索やパソコンソフトなどの情報機器を上手に使いこなし、友だちに教えることができる。 B - 情報モラルやクラスの決まりなどを進んで守りながら、情報機器を正しく使おうとする。 |
| H | 本「捨て犬みかんとポチ」 | - 図書室で目的の資料を探したり、資料から調べたいことを上手に見つけたり、視聴覚資料を効果的に活用するなど、今までの学習経験を生かしてわからないことを粘り強く調べていくことができる。 |
| I | IT1-1 | B - 情報機器を目的に合わせて効果的に活用することができる。 B - インターネット検索やパソコンソフトなどの情報機器を上手に使いこなし、友だちに教えることができる。 B - 情報モラルやクラスの決まりなどを進んで守りながら、情報機器を正しく使おうとする。 |
| J | IT1-2 | B - 情報機器を目的に合わせて効果的に活用することができる。 B - インターネット検索やパソコンソフトなどの情報機器を上手に使いこなし、友だちに教えることができる。 B - 情報モラルやクラスの決まりなどを進んで守りながら、情報機器を正しく使おうとする。 |
| K | IT1-1 | B - 情報機器を目的に合わせて効果的に活用することができる。 B - インターネット検索やパソコンソフトなどの情報機器を上手に使いこなし、友だちに教えることができる。 B - 情報モラルやクラスの決まりなどを進んで守りながら、情報機器を正しく使おうとする。 |
| L | IT1-1 | B - 情報機器を目的に合わせて効果的に活用することができる。 B - インターネット検索やパソコンソフトなどの情報機器を上手に使いこなし、友だちに教えることができる。 B - 情報モラルやクラスの決まりなどを進んで守りながら、情報機器を正しく使おうとする。 |
| M | IT1-1 | B - インターネット検索やパソコンソフトなどの情報機器を上手に使いこなし、友だちに教えることができる。 B - 情報モラルやクラスの決まりなどを進んで守りながら、情報機器を正しく使おうとする。 |
| N | IT1-1 | B - 情報機器を目的に合わせて効果的に活用することができる。 B - インターネット検索やパソコンソフトなどの情報機器を上手に |

B - 使いこなし、友だちに教えることができる。情報モラルやクラスの決まりなどを進んで守りながら、情報機器を正しく使おうとする。

第12～13時 耳が聞こえない世界をたんけんしよう2

6 活動の概要

- 10～11時に続いて本時も、それぞれがたてた「こんな自分になりたい」という目標を実現するために、4観点の努力目標(子ども自身がつくった評価基準)や学習スケジュールなどのそれぞれの学習計画にそって、追究活動する。
- ・追究活動に入る前に 追究場所、追究方法、追究内容、追究範囲を一人一人確認できるようにする。
- ・追究場所が教室以外の場所にわかれたり、追究方法が多岐にわたるので、IT で分担して対応できるようにする。
- ・追究活動後、追究活動の反省、次に向けての課題や宿題をまとめて、追究活動を振り返られるようにする。そして、自身がきめた4つの評価基準(ほしまた)で自己評価する。
- ・本時ではビデオ学習を希望する子どもが6名で、3台のビデオデッキでは対応できないので、3名はパソコンでのCD-Rによる学習で対応出来るようにして、個別に追究活動できるように配慮したい。

7. 展開

| 予想される学習活動 教師の投げかけ・ 指導方針・ 子どもの思いや願い(発言・つぶやき) | 評価の方法・目的 【4観点】(時間) |
|---|--|
|  <p>「こんな自分になりたい」という目標が実現できるように、それぞれがたてた計画にそってしっかり追究活動しよう!</p> <p>はじめに11月12日に さんの職場へ見学することを計画に入れたので、どのように自分たちでお願いしたらいいかを、職場見学を希望しないにかかわらず全体指導する。その後希望する子どもと希望しない子どもをT1 T2で分けて指導する。</p> <p>職場見学を希望する子どもはT2が担当する。全体指導したことから、宿題で考えてきたお願いの文章を発表しあい、よいかどうかもう一度考えられるようにする。その後、前時と同じように、本時の活動計画を4つの観点からワークシートに書き、目的意識をもって活動できるようにする。お願いの文章が不十分だと考えられるので、この後の追究活動での追究内容に課題として入れてもいいことを投げかける。</p> <p>職場見学を希望しない子どもは、T1が担当する。前時と同じように、本時の活動計画を4つの観点からワークシートに書き、目的意識をもって活動できるようにする。事前にポートフォリオを見ておき、計画性が不十分な児童には個別指導する。</p> <p>追究活動に入る前 </p> | <p>わからないことをいろいろな手段で調べる力・・・A</p> <p>課題解決のために楽しく調べられる。</p> <p>いろいろな手段で調べたことが、断片的な知識になってしまうのではなく、関係付けてとらえることができる。</p> <p>教師の支援を受けながら、図書資料や視聴覚資料などからわからないことを調べていくことができる。</p> <p>家族や地域の人に、調べたいことを聞いたり、調べたことを確かめたりすることができる。</p> <p>コンピュータやデジタルカメラなどをじょうずにつかえる力・・・B</p> |
| <p>(10分～15分)</p> <p>(1人)</p> <p>今日は手話の練習をするぞ。前の時間は集中して出来なかったから今度はしっかりインターネットで学習できるようにするぞ。</p> <p>(1人)</p> <p>私は補聴犬ノンコ物語を読むぞ。どんなお話かな？ ぼくは、捨て犬みかんとポチを読むぞ。さいごまで飽きずに読めるかな。がんばるぞ。 私は愛犬ボタンはぼくの耳を読むぞ。君が読んだのであとで感想を交換しよう。</p> <p>ぼくはあいさつの練習をしっかりとるぞ。 わたしは、「手話をはじめよう」をみて、基本的な手話についてしっかりと勉強したい。 ぼくは手話で歌を覚えて交流会でさんと楽しく歌いたいな。 わたしも歌を手話で出来るようになりたい。</p> <p>(6人)</p> <p>情報機器を楽しく活用している。</p> <p>インターネット検索やパソコンソフトなどの情報機器の基本的な操作方法がわかる。</p> <p>T1 T2</p> <p>(60～65分)</p> | <p>情報機器を楽しく活用している。</p> <p>インターネット検索やパソコンソフトなどの情報機器の基本的な操作方法がわかる。</p> <p>T1 T2</p> <p>(60～65分)</p> |

追究活動の後



T 1 T 2



(1 0 分)

学習計画の修正

実態観察から、まだまだ見通しのある学習計画がたてられている子どもが少ないので、少し時間をとって個別指導し学習計画の修正や改善が出来るようにしたい。

(5 分)

8 . 個人別の評価項目

| 名前 | 追究活動の方法 | 評価項目 |
|----|---------------|--------------------------------|
| A | ビデオ「この手で歌おう」 | A - 、 A - 、 A - |
| B | 本 違う本 | A - 、 A - 、 A - |
| C | ビデオ 「手話ってなに」 | A - 、 A - 、 A - A - (職場見学希望) |
| D | インターネット | B - 、 B - 、 B - A - (職場見学希望) |
| E | ビデオ 「手話ってなに」 | A - 、 A - 、 A - A - (職場見学希望) |
| F | 本[捨て犬みかんとポチ] | A - 、 A - 、 A - A - (職場見学希望) |
| G | ビデオ「あいさつ」 | A - 、 A - 、 A - A - (職場見学希望) |
| H | インターネット | B - 、 B - 、 B - A - (職場見学希望) |
| I | IT1-2 | B - 、 B - 、 B - |
| J | ビデオ第2巻 | A - 、 A - 、 A - |
| K | 本 違う本になりました。 | A - 、 A - 、 A - |
| L | ビデオ「手話をはじめよう」 | A - 、 A - 、 A - A - (職場見学希望) |
| M | ビデオ「この手で歌おう」1 | A - 、 A - 、 A - A - (職場見学希望) |
| N | 本「補聴犬ノンコ物語」 | A - 、 A - 、 A - |

9 . さんの職場見学のための全体指導

人をお願いをする時のマナーを指導する。
 職場見学の目的や内容をはっきりもつこと。
 ファックスやメールの基本的なマナーやモラル

第14～15時 耳が聞こえない世界をたんけんしよう3

6 活動の概要

- 12～13時に続いて本時も、それぞれがたてた「こんな自分になりたい」という目標を実現するために、4観点の努力目標(子ども自身がつくった評価規準)や学習スケジュールなどのそれぞれの学習計画にそって、追究活動する。
- ・追究活動に入る前に 追究場所、 追究方法、 追究内容、 追究範囲を一人一人確認できるようにする。
- ・追究場所が教室以外の場所にわかれたり、追究方法が多岐にわたるので、TT で分担して対応できるようにする。
- ・来週11月5日の中間発表会に向けて、今までの自分の追究活動を振り返り、今までの追究成果を上手に発表できるように準備する。その際自分の追究を客観的に振り返るために、「こんな自分になりたい」という目標の達成度を自分自身で自己評価させたい。また、個別指導を要する児童には、TT で対応できるように配慮する。
- ・追究活動後、 追究活動の反省、 次に向けての課題や宿題をまとめて、追究活動を振り返られるようにする。そして、自分自身がきめた4つの評価基準(ほしまた)で自己評価する。
- ・本時ではビデオ学習を希望する子どもが6名いる。3台のビデオデッキでは対応できないが、同じビデオテープを希望している子どもも3人いるので、3名はパソコンでの CD-R による学習で対応出来るようにして、個別でも小グループでもどちらでも追究活動できるように配慮する。

7. 展開

| <p>予想される学習活動 教師の投げかけ・ 指導方針・ 子どもの思いや願い(発言・つぶやき)</p> | <p>評価の方法・目的 【4観点】(時間)</p> |
|--|---|
| <p>T 1</p> <p>「こんな自分になりたい」という目標が実現できるように、それぞれがたてた計画にそってしっかり追究活動しよう!</p> <p>はじめに、 さんに職場見学をお願いをした児童に対して、 さんから早く返事がきたらいいねと投げかけ、これからの追究計画の見通しがもてるようにする。 そして、いよいよ来週の11月5日に中間発表会をするので、自分が追究してきたことを一人1分から3分で自分なりにまとめて発表できるようにしておくことを確認する。中間発表会用のワークシート(別紙)を配布して、児童が発表に自信がもてたり、教師が実態を把握できるようにする。 その後、前時と同じように、本時の活動計画を4つの観点からワークシートに書き、目的意識をもって活動できるようにする。事前にポートフォリオを見ておき、計画性が不十分な児童には個別指導する。</p> <p>追究活動に入る前  (10分)</p> | <p>T 1 T 2</p> <p> わからないことをいろいろな手段で調べる力・・・A</p> <p>課題解決のために楽しく調べられる。</p> <p>いろんな手段で調べたことが、断片的な知識になってしまうのではなく、関係付けてとらえることができる。</p> <p>教師の支援を受けながら、図書資料や視聴覚資料などからわからないことを調べていくことができる。</p> <p>家族や地域の人に、調べたいことを聞いたり、調べたことを確かめたりすることができる。</p> |
| <p>  (1人)</p> <p>ぼくはあいさつの練習をしっかりとるぞ。友だちと一緒に勉強しよう。 わたしは、「手話ってなあに」をみて、基本的な手話についてもう一度しっかりと勉強したい。私は手話で歌を覚えて交流会でさんと楽しく歌いたいな。 わたしは歌とゲームで遊ぼうを見てみよう。楽しそう。さんと出来るかな。</p> <p> (1人)</p> <p>聴導犬のことについて調べるぞ。中間発表会のことも考えて調べよう。今日は聴覚障害者の気持ちについてしっかりと調べるぞ。不自由な人の役に立つたわかんといいな。 先生にしっかりと何を調べるかはっきりしておかないと上手に追究できないと言われたから、今日はしっかりとインターネットで学習できるようにするぞ。</p> <p> (1人)</p> <p>わたしは、捨て犬みかんとポチを読むぞ。どんなお話が楽しみ。 私は愛犬ボタンはぼくの耳を読もう。</p> <p>コンピュータやデジタルカメラなどをじょうずにつかえる力・・・B</p> <p>情報機器を楽しく活用している。</p> <p>インターネット検索やパソコンソフトなどの情報機器の基本的な操作方法がわかる。</p> | <p>(50分)</p> |
| <p>  (25分)</p> <p>中間発表会に向けて、今までの追究成果を上手に発表するための準備をする。自分の追究を客観的に振り返られるようなワークシートの工夫をする。やや内容が難しいと感じる児童には個別指導できるようにする。</p> | <p>T 1 T 2</p> <p>A -</p> <p>いろんな手段で調べたことが、断片的な知識になってしまうのではなく、関係付けてとらえることができる。</p> |



T 1 T 2

(5 分)

8. 個人別の評価項目
それぞれの実態が把握できてきたので、個別に評価項目を決めた。

| 名前 | 追究活動の方法 | 評価項目 |
|----|----------------|----------------------------------|
| A | ビデオ「あいさつをしよう」 | A - 、 A - 、 A - |
| B | ビデオ | A - 、 A - |
| C | IT 1 - 3 | B - 、 B - 、 A - (職場見学希望) |
| D | IT 1 - 1 | B - 、 B - 、 A - (職場見学希望) |
| E | IT | B - 、 B - 、 B - 、 A - (職場見学希望) |
| F | ビデオ「あいさつしよう」 | A - 、 A - 、 A - (職場見学希望) |
| G | ビデオ「あいさつしよう」 | A - 、 A - (職場見学希望) |
| H | IT 1 - 3 | B - 、 B - 、 B - 、 A - (職場見学希望) |
| I | IT 1 - 3 | B - 、 B - 、 B - 、 A - |
| J | IT 1 - 4 | A - 、 A - 、 A - |
| K | ビデオ「歌とビデオで遊ぼう」 | A - 、 A - |
| L | 本「愛犬ボタンはぼくの耳」 | A - 、 A - (職場見学希望) |
| M | 本「捨て犬みかんとポチ」 | A - 、 A - (職場見学希望) |
| N | ビデオ「手話ってなあに」 | A - 、 A - |